

◆第 28 回日本プロ音楽録音賞実施について

第 28 回日本プロ音楽録音賞運営委員会

委員長 内沼 映二 / 副委員長 高田 英男 / 高橋 邦明

レコーディングの現場において日夜努力をされているエンジニアを顕彰するこの制度は、昨年はコロナ禍における対策を講じながら運営を行い、無事に第 27 回を開催することが出来ました。そして本年も引き続き感染症に対する安全対策を第一に考えながら、第 28 回の日本プロ音楽録音賞を開催することとなりました。(コロナ感染症の状況により応募要項に記載された内容を変更して運営する場合もあることを予めご了承下さい。)

関係各位のご理解とご支援の賜と心より感謝申し上げます次第です。

本年度の応募作品の分類につきましては、昨年新設しました Best Sound 部門、Super Master Sound 部門、Immersive 部門そしてアナログディスク部門を今年度も継承しつつ、審査方法等につきましては更なる精査及び検討を行い、評価・顕彰させていただきます。

また放送部門は、昨年までと同様に 2ch ステレオとマルチ ch サラウンドに区分して顕彰させていただきます。

本年度の応募作品対象期間につきましては以下の通りです。

【応募作品対象期間】2021 年 9 月 1 日から 2022 年 8 月 31 日

尚、本年度第 28 回の実施に際しましては、一般社団法人日本オーディオ協会 (JAS)、一般社団法人日本音楽スタジオ協会 (JAPRS)、特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会 (JAREC)、一般社団法人日本レコード協会 (RIAJ)、一般社団法人演奏家権利処理合同機構 MPN、日本放送協会 (NHK) の 6 団体により運営委員会を構成することとなりました。

この顕彰制度につきましては、ご後援を頂いております経済産業省をはじめ、関係者より高い評価を頂いておりますが、運営委員会といたしましては、第 28 回日本プロ音楽録音賞を成功させるべく、一層努力して参る所存です。

最後に、より多くの皆様からの作品の応募と、関係各位のご協力を心よりお願い申し上げます。

「第 28 回日本プロ音楽録音賞」応募要項

1. 実施目的

本賞は音楽文化と産業の発展の一翼を担う録音エンジニアが制作し応募した音楽録音作品について、エンジニアが有する音楽に対する感性、技術力等を評価することにより、授賞対象優秀作品および最優秀作品並びにベストパフォーマー賞を選定し、これに携わり制作を担ったエンジニアおよびベストパフォーマーのアーティストを顕彰することでエンジニアの技術の向上と次世代エンジニアの発掘を図ることを目的とし、表彰を行うものである。

2. 審査対象

(1) Best Sound 部門、Super Master Sound 部門、Immersive 部門、アナログディスク部門および放送部門の放送メディア作品

国内において企画され、2021 年 9 月 1 日から 2022 年 8 月 31 日までの間初めて国内で発売 (2022 年 9 月 30 日までにサンプル盤が配布されているものを含む)、または公に放送・配信された (2022 年 9 月 30 日までに放送・配信が決定しているものを含む) 音楽録音作品を審査の対象とする。

尚、旧譜の音源が新たにミキシングされた作品は応募が可能です。但し、全ての作業を国外で行った作品を除く

3. 応募資格者

(1) 自薦: 応募作品の制作に主要な役割を担ったエンジニア (Best

Sound 部門はマスタリング・エンジニアを含む) とする

(2) 推薦: レコード会社・音楽出版社・番組制作会社等のディレクター、プロダクションの担当者、ミュージシャン等を含めた制作関係者、および運営委員会が推薦を依頼した関連各社とする。

4. 受賞資格者

最優秀作品および優秀作品の制作に主要な役割を担ったエンジニアとし、1 作品当たり 3 名以内とする。

5 応募作品の分類および授賞区分

応募作品部門の分類および授賞区分は次のとおりとする。

Best Sound 部門: クラシック、ジャズ、フュージョン (2ch) (CD、SACD、DVD、BD & 配信 PC\F 96kHz 以下・DSD 2.8MHz 以下) : ポップス、歌謡曲 (2ch) (CD、SACD、DVD、BD & 配信 PCM 96kHz 以下・DSD 2.8MHz 以下)

Super Master Sound 部門: 2ch ステレオ、ジャンル問わず (音源フォーマット PCM 176.4 kHz 以上、DSD 5.6MHz 以上)

Immersive 部門: サラウンド作品全般 2 ジャンルを問わず
アナログディスク部門: 2ch ステレオ、33・45 回転、ジャンルを問わず

放送部門: 2ch ステレオ (ラジオ番組: AM、FM、衛星放送) (有線放送) (テレビ番組: 地上波、衛星放送)

放送部門: マルチ ch サラウンド (テレビ番組: 地上波、衛星放送)

ベストパフォーマー賞: Best Sound 部門、Super Master Sound 部門、Immersive 部門の全応募作品よりベストパフォーマーを選定。

6. 応募作品のメディア

Best Sound 部門のパッケージ作品は市販商品での応募とし、他の音声記録メディアによるコピーでの応募は受け付けません。

Best Sound 部門、Super Master Sound 部門のノンパッケージ作品のオーディオ・ファイル・フォーマットは、配信音源等のファイル・フォーマットとし WAV、FLAC および DSDIFF、DSF 等とする。

Immersive 部門のパッケージ作品は市販商品での応募とし、ノンパッケージ作品はマルチチャンネル音源でのミックスマスターとして、ファイル・フォーマットは WAV、および ADM BWF、DSDIFF、DSF 等とする 360RA の音源につきましては、360Walkmix Creator 等のマスターマルチ音源も可とする。

(※ご応募いただいた音源につきましては審査のみの再生となりますが、納品マスターを応募作品とする場合は必ず制作ご担当者の許諾を得て下さい。)

放送部門: 2ch ステレオ ビデオ (XDCAM、P2) および WAV ファイル。

放送部門: マルチ ch サラウンド ビデオ (XDCAM、P2)
XDCAM、P2 は内部データをすべて Blu-ray Disc にコピーしての応募も可能です。また、映像圧縮フォーマットについては、応募用紙に記載している通りです。

4K 放送作品につきましては、審査の都合上 2K にダウンコンバートしてご応募下さい。

HDCAM での作品応募につきましては事務局までお問い合わせ下さい。

他の 5.1ch 音声記録メディアについては別途連絡のこと。

尚、最大 ch 数は 5.1ch とします。

*放送メディアに応募の際は、局および制作会社の担当者に事前了解を得て下さい。また、ラジオ番組に関しては、担当されている皆様からのより広範囲な応募を期待しております。更に、放送局の外部制作者として音楽番組を担当されている皆様からの積極的な応募も期待しております。

7. 応募作品数

応募作品の制作に主要な役割を担ったエンジニア 1 名 1 作品の応募を原則とする。但し、Immersive 部門、アナログディスク部門、および応募作品を共同制作したエンジニア等及び推薦作品についてはこの限りではない。

8. 応募方法

応募要項巻末の応募項目を確認いただき、一般社団法人日本音楽スタジオ協会ホームページ“第 28 回日本プロ音楽録音賞”ご案内ページ内 リンク先にある各部門のエントリーフォームから必要項目をご入力いただくか、各部門の応募用紙をダウンロードいただき必要項目をご入力のうえ、運営事務局 (japrs@japrs. or. jp) までメール添付にてお送りください。

パッケージ作品につきましては市販商品をお送りいただき、その他音源ファイル等につきましては、各種メディアにコピーもしくはアップロード等にてお送りください。

9. 応募受付期間

応募受付期間は、2022 年 9 月 1 日 (木) から 9 月 30 日 (金) までの必着とします。

10. 応募作品送付先

一般社団法人 日本音楽スタジオ協会 事務局長 内藤 重利
〒169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 1 番 11 号 モナーク大久保 3F TEL : 03-3200-3650

11. 審査方法

曲名や所属先名およびエンジニア 名などを伏せたブラインドホール式で行い、共通審査項目をそれぞれ採点し、100 点を満点として得られた採点表を集計し、平均点の上位得点の中から授賞対象優秀作品 (ノミネート作品) を選定し、その中から最高得点作品を最優秀賞に決定します。尚、審査委員が関わる応募作品については、審査をせず不採点とし、他の審査委員の採点を集計することにより公平を期しています。

12. 審査発表

各部門ごとに審査委員会 を構成して、応募作品を審査します。Best Sound 部門のクラシック、ジャズ、フュージョンについては各優秀 2 作品、Best Sound 部門のポップス、歌謡曲については優秀 2 作品 (ミキシング・エンジニア 35 歳未満の応募作品については別途優秀 2 作品)、Super Master Sound 部門、Immersive 部門、アナログディスク部門については各優秀 2 作品、放送部門 2ch ステレオおよびマルチ ch サラウンドについては各優秀 2 作品をそれぞれ事前発表します。2022 年 12 月 6 日 (火) の授賞式会場 (KANDA SQUARE HALL) に於いて、「音の日」イベントの一環として各部門の最優秀作品を発表いたします。それ以

前の問い合わせには応じられません。(感染症の状況によっては内容が変更となる場合がございます。)

13. 審査委員の構成

総合審査委員長 内沼映二 副審査委員長 高田英男、高橋邦明
Best Sound 部門、Super Master Sound 部門、Immersive 部門、アナログディスク部門

審査委員：内沼映二、岡部 潔、奥原秀明、川澄伸一、椎名和夫、末永信一、高田英男、高橋邦明、内藤哲也、増田 晋、松武秀樹、三浦瑞生、吉田 保、脇田貞二、渡辺昭人

放送部門 審査委員：深田 晃、今村公威、亀川 徹、芝本孝幸、商橋正勝、中島博和、松永英一

14. 主催、後援、協賛、賛助および協力

主催：一般社団法人 日本オーディオ協会、一般社団法人日本音楽スタジオ協会、特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会、一般社団法人日本レコード協会、一般社団法人演奏家権利処理合同機構 MPN

後援：経済産業省

協賛：NHK、一般社団法人日本民間放送連盟、(株)ステレオサウンド

賛助：Sound & Recording、CDJournal、Stereo sound、

PROSOUND、レコード芸術、Audio Accessory、analog

協力：NPO 法人ミュージックソムリエ協会、(株)ソニー・ミュージックソリュ ー ションズ/mora/ソニー・ミュージクス

スタジオ、Xandrie Japan (株) e-onkyo music、オトトイ (株)

/OTOTOY、(株)サウンド・シティ、パナソニック (株)、(株)

ミキサズラボ/ワ ーナー ミュ ージック・マスタリング、(株)

JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント/ビクタースタジオ、

オタリテック (株)、日本コロムビア (株)、(株) JVCケンウッド・

クリエイティブメディア、(株)キング関口台スタジオ、東放学園

音響専門学校、東洋化成 (株) (以上順不同、申請中を含む)

15. 問い合わせ先

一般社団法人日本音楽スタジオ協会 (運営事務局)

<https://www.japrs.or.jp>
〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-1-11 モナーク大久保 3F

事務局長 内藤重利 E-mail : japrs@japrs. or. jp
TEL : 03-3200-3650

一般社団法人日本オーディオ協会
〒108-0074 東京都港区高輪 3-4-13 第二高輪偕成ビル 4F

専務理事 末永信一 E-mail : jas@jas-audio. or. jp
TEL : 03-3448-1206

特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会
〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-II モナーク大久保 3F

事務局 伊東真奈美 E-mail : jarec@jarec.com
TEL : 03-3200-5811

一般社団法人日本レコード協会
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-2-5 共同通信会館 9 階

企画・広報部部长 丹野祐子 E-mail : tanno@riaj. or. jp
TEL : 03-5575-1306

一般社団法人 演奏家権利処理合同機構 MPN
〒107-0061 東京都港区北青山 2-10-29 日昭第 2 ビル 2F

理事・事務局長 高村 宏 E-mail : takamura@mpn. or. jp
TEL : 03-5772-4484

◆ゼンハイザー・ジャパン：TLM 102 LESP 限定発売

ゼンハイザー・ジャパン株式会社（代表取締役：宮脇 精一）は、9月1日（木）より、人気のコンデンサーマイク TLM 102 と純正サスペンション EA 4 のセット品に、非売品ポーチが付属するキャンペーンを数量限定で実施。



キャンペーン内容

TLM 102（ニッケルカラー）と純正サスペンション EA 4 のセット品に、非売品ポーチが付属するキャンペーン。非売品ポーチは普段お使いのグッズを持ち運ぶのにも便利に活用でき、日常使いにもおすすめ。本キャンペーンは数量限定のため受注数に達し次第終了。

概要

- ・発売開始日 9月1日（木）
- ・対象店 弊社選定の対象代理店様のみ

モデル名 ・メーカー：Neumann ・型番：TLM 102 LESP

・Item number：JP1026 ・JAN：4582505170069

・標準価格：OPEN（参考価格 100,100 円 税込）

・製品情報：https://ja-jp.neumann.com/tlm-102

※ TLM 102 および TLM 102 Studio Set とは異なる新規の型番 / Item number / JAN

対象店様（敬称略、順不同）

Amazon ゼンハイザープロオーディオ公式店 / 楽天ゼンハイザープロオーディオ公式店 / 株式会社 メディア・インテグレーション（ロックオンカンパニー） / 株式会社 サウンドハウス / 株式会社 池部楽器店 / 島村楽器 株式会社 / 株式会社 石橋楽器店 / 株式会社 宮地商会（宮地楽器） / 株式会社 ワタナベ楽器店 / 有限会社 スミスサービス（SMITHS Digital Musical Instruments）

Neumann ポーチ（非売品）



TLM 102 概要

小さくて、スマートでパワフル

TLM 102 は、小規模のスタジオにも、ホームレコーディングにも Neumann 品質を提供します。TLM 102 は、ハイエンドモデルと同様に、卓越した技術と美しくバランスのとれたサウンドを兼ね備えており、シルクのようなボーカル、歯切れの良いギター、パワフルなドラムを奏できます。カーディオイドパターンと一体型のポップスクリーンを備えた TLM 102 は、初心者の方でも安心してお使いいただけます。



問い合わせ先：ゼンハイザー・ジャパン株式会社

Neumann ウェブサイト <https://ja-jp.neumann.com/>

◆ゼンハイザージャパン：動画撮影用オンカメラマイク MKE 200 プライスプロモーションキャンペーン(限定特価) 実施

ゼンハイザージャパン株式会社（代表取締役：宮脇 精一）プロオーディオ事業部は、動画収録向けの高音質・指向性マイク「MKE 200」のプライスプロモーションキャンペーン（期間限定特価）を2022年8月25日より2022年9月30日まで、数量限定で実施。



カメラに取り付けるだけで動画収録を高音質化する指向性マイク「MKE 200」を特別価格で入手できるチャンスがやってきました。期間中は SENNHEISER 製品をお取り扱いの販売店様において、特別価格で「MKE 200」をご購入いただけます。数量限定となっており、規定数量に到達し次第終了。※写真のカメラは付属しません

キャンペーン対象期間

2022年8月25日（木）～2022年9月30日（金）まで

キャンペーン対象製品

Article No.	型番	品名	EAN (JAN)	標準価格	参考価格 通常時 (税込)	参考価格 キャンペーン時 (税込)
508897	MKE 200	オンカメラマイク	4044155251746	OPEN	14,300円	9,900円

取扱店舗

プロオーディオ製品 国内正規代理店

<https://ja-jp.sennheiser.com/japan-dealers>

※オープン価格のため販売店舗によって価格が異なります

製品概要

指向性マイクでインタビュー収録に適した「MKE 200」



「MKE 200」は、カメラのコールドシューに装着可能な指向性マイク。狙った方向の音を中心に収録するため、インタビュー収録に最適です。高耐入力 120dB SPL を誇り、大音量環境での使用にも適している。

ウインドスクリーンとショックマウントを内蔵



「MKE 200」は風防と衝撃吸収の機能を標準搭載しているため、移動中に動画を撮影する場合でもクリアな音声を収録できます。付属のウイン

ドシールドを取り付ければ、風防性能を最大限に高めることができます。

2種類のケーブルでデジタルカメラとスマートフォンに対応

「MKE 200」には、3.5 mm (1/8in) TRS ケーブルと TRRS ケーブルが同梱されているため、外部入力端子を持つデジタル一眼レフカメラ、ミラーレスカメラ、モバイル機器などで使用できます。

※すべての機器の互換性を保証するものではありません。端子形状をよくご確認ください。



特徴

- ▶ スマートフォンで制作するコンテンツクリエイターに最適
- ▶ 歩き撮りも楽しみたいパイロガーやコンテンツクリエイターに最適
- ▶ スタイリッシュで無駄のないコンパクト設計
- ▶ ウインドスクリーンと内部のショックマウントの組み合わせで操作時のノイズを極限にまで削減
- ▶ 3.5 mm TRS ケーブルと TRRS ケーブルを付け替えることで、デジタル一眼レフカメラ、ミラーレスカメラ、モバイルデバイスに対応
- ▶ バッテリーを使用しない設計

スペック (MKE 200)

寸法	69 x 60 x 39 mm
指向特性	スーパーカーディオイド
トランスデューサー原理	分極コンデンサー
最大音圧レベル	120dB
電源	2 - 10V
感度	-33 dBV/Pa
色	ブラック
コネクタ	3.5mm ロッキングジャック
接続ケーブル	3.5mm TRS ケーブル 及び 3.5mm TRRS ケーブル付属
等価雑音レベル	20dB SPL (A)
周波数帯域	40 - 20,000Hz
本体重量	48g

製品ウェブサイト：<https://ja-jp.sennheiser.com/mke-200>

問い合わせ先：ゼンハイザージャパン株式会社 プロオーディオ事業部 www.sennheiser.com

◆ティアック：コンパクトボディ、クリアでダイナミックなサウンド 2-Way アクティブ コアキシャル ステージモニター dBTechnologies『FMX 10』、『FMX 12』を新発売

イタリア AEB Industriale 社のプロオーディオブランド、dBTechnologies（ディービーテクノロジーズ）の輸入代理店を務めるティアック株式会社（本社：東京都多摩市、代表取締役社長：英 裕治）は、2-Way アクティブ コアキシャル ステージモニター『FMX 10』および『FMX 12』を全国の設備機器代理店ならびにティアックストアを通じて販売を開始する。

品名	型名	備考	メーカー希望小売価格	発売予定日
2-Way アクティブ コアキシャル ステージモニター	FMX 10	10 インチ LF ドライバー	112,200 円 (税込)	2022 年 9 月下旬
	FMX 12	12 インチ LF ドライバー	149,600 円 (税込)	
スピーカースタンド	SSB2	2 本セット	30,800 円 (税込)	発売中



FMX 10



FMX 12

『FMX シリーズ』は、2-Way 同軸設計、ポールマウントに対応するホーンデザイン、リニアフェーズ FIR フィルターの優れた位相特性による濁りの無い音という特長を持ち、あらゆるパフォーマーのニーズに応えるモニタリングソリューションです。

軽量×高効率な Class-D アンプを搭載

『FMX シリーズ』は、低消費電流で動作し、高出力を実現する Class-D アンプを内蔵しています。RMS 出力は、FMX 10=400W、FMX 12=600W を出力します。即戦力として使えるプリセットにより仮設現場でも迅速なサウンドメイキングが可能です。

用途に合わせて設定できる 8 つのプリセット

Class-D アンプに内蔵される DSP により、ステージモニター用として 6 パターン、ポールマウントスピーカー用として 2 パターンの合計 8 つのプリセットからシーンに合わせて手軽にサウンドを変えることができます。

リニアフェーズ FIR フィルター搭載

『FMX シリーズ』では、HF/LF に帯域分割させるクロスオーバーフィルターにリニアフェーズ FIR フィルターを採用し、位相周波数特性の波形の崩れを起こさず、HF（高域用）と LF（低域用）から一定の位相特性を保ちスムーズな出力を実現します。

同軸スピーカー

同軸スピーカーは、ウーハーとツイーターが同一軸に組み込まれており、発音源が物理的に一点となることで、音源軸のズレによる位相差を軽減し、リニアフェーズ FIR フィルターと相まって安定した定位感のあるサウンドを奏でます。

36mm ポールマウントホール装備

側面部に、36mm ポールマウントホールを装備。標準的なスピーカースタンドに設置することが可能です。DSP プリセットの切替と併せてメインスピーカーとしても活躍するユーティリティ性を兼ね備えています。

また、ホーンが装着されているスピーカーユニットを回転させることにより、カバーエリア（指向角）を変えることができます。

繊細な演奏を妨げない静寂を保つファンレス・アンプ

アンプ部の冷却方式は、自然対流式を採用したファンレス仕様。パ

フォーマーのみならず、最前列のオーディエンスに対しても、ファンの駆動音による演奏の妨げを心配する必要がありません。繊細なニュアンスを必要とする、アコースティックライブやクラシックコンサートでも活躍するステージモニターです。

コネクターやコントロール部を意識させないデザイン

入出力接続端子や操作部を側面に配置しました。これにより客席側から見える背面がスッキリとしたデザインとなります。

【主な特長】

- Class-D アンプを内蔵した同軸スピーカーのステージモニター
- 用途別に設定できる 8 つのプリセットで、シンプル&スピーディーにセットアップ
- 低消費電流で駆動 (FMX 10=1.4A、FMX 12=2A)
- リニアフェーズ FIR フィルター搭載
- 36mm ポールマウントホール装備でスタンドマウント可能
- 繊細な演奏を妨げない静寂を保つファンレス・アンプ
- 客席側にコネクターやコントロール部を見せないデザイン

【製品サイト】

『FMX 10』

https://tascam.jp/jp/product/dbtechnologies_fm_x_10/

『FMX 12』

https://tascam.jp/jp/product/dbtechnologies_fm_x_12/

【関連アクセサリサイト】

スピーカースタンド『SSB2』

https://tascam.jp/jp/product/dbtechnologies_ssb2/

【仕様】

詳細仕様はウェブサイトをご確認ください。

【販売チャンネル】

全国の設備機器代理店および、ティアックストア（EC サイト）

【無料展示試聴会】

『FMX 10』および『FMX 12』は、2022 年 9 月 5 日（月）～2022 年 9 月 9 日（金）10：00～17：00 の期間にティアック本社ショールームにて開催する展示試聴会でご覧いただけます。

イベントページ：<https://tascam.jp/jp/support/news/7018>

dBTechnologies（ディービーテクノロジーズ）は、イタリア・ローマに本拠を持つ AEB Industriale 社のプロオーディオブランドです。アクティブスピーカーやデジタルアンプテクノロジーで業界をリードし、高品質のサウンドパフォーマンスと Made in Italy デザインの音響機器を提供しています。2016 年よりティアック株式会社が正規輸入代理店として取り扱いを開始しております。

ティアック株式会社 タスカムカスタマーサポート

〒206-8530 東京都多摩市落合 1-47

TEL：042-356-9137（携帯電話・IP 電話）0570-000-809（ナビダイヤル）FAX：042-356-9185

URL：<https://tascam.jp/jp>

Twitter：https://twitter.com/TASCAM_jp

Facebook：<https://www.facebook.com/teacprofessional>

Instagram：https://www.instagram.com/tascam_official/



シネマズシャンテ、有楽町よみうりホールに加え、TOHO シネマズ日比谷（昨年はクロージングセレモニーのみ使用）、丸の内TOEI、丸の内ピカデリーの大型劇場が加わり、上映本数も拡大予定で、いよいよ本格的な展開が始まる。また、三井不動産、三菱地所といった日比谷・丸の内地区の有力企業ともより連携を深め、千代田区などの行政側とも協力体制を敷き、全銀座会等の地元団体とも様々なコラボレーションを図っていき、エリア展開も含めた街ぐるみの映画祭となっていく。

また、あくまで新型コロナウイルスの感染状況次第であるが、今年は海外からも多くのゲストに参加予定。東京の秋を彩る華やかな映画祭にしたいと考えておりますので、乞うご期待。

そして、昨年からのポスターのビジュアル監修をコシノジュンコさんをお願いをし、従来とは異なるビジュアルを打ち出しましたが、今年も引き続きコシノジュンコさんにポスターを手掛けて頂き、「飛躍」をテーマに躍動感あふれるビジュアルが完成した。8月19日(金)から各劇場で掲出予定。

■コシノジュンコさんコメント

映画祭はファッション、モードといったものと縁遠かった気がしますが、このビジュアルを見てもらうと映画祭に広がりができるかなと思います。ここから今年はちょっと面白いことになりそうな気がしています。今コロナで溜まった文化の爆発が起きていて、ファッションも映画もクリエイティブな爆発が楽しみです。

◆第35回東京国際映画祭

更なる進化へ！

会場拡大、新ポスタービジュアル

第35回東京国際映画祭は2022年10月24日(月)～11月2日(水)にリアル開催するべく準備を進めていると報告。2021年から会場を日比谷・有楽町・銀座エリアに移し、プログラミング・ディレクターも替わり大きな進化を果たした。今年もさらにその進化を加速していくとしている。まず会場が大幅に拡大する。10月24日(月)のオープニングセレモニーに関しては、初の会場となる東京宝塚劇場で行うほか、クロージングセレモニーは東京国際フォーラムホールC、上映劇場は昨年の角川シネマ有楽町、シネスイッチ銀座、ヒューマントラストシネマ有楽町、TOHO

つきましては、貴媒体にて上記情報ご紹介頂けますようお願い申し上げます。

<第35回東京国際映画祭 開催概要>

■開催期間：2022年10月24日(月)～11月2日(水)

■会場：日比谷・有楽町・丸の内・銀座エリアの各映画館やホールなど

■主催：公益財団法人ユニジャパン ■公式サイト：www.tiff-jp.net

<TIFFCOM2022 開催概要>

■開催期間：2022年10月25日(火)～27日(木)（※オンライン開催）

■公式サイト：www.tiffcom.jp

IBC2022 出展概要

◆朋栄：IP/SDI ハイブリッド対応や NDI® 対応など 最新 IP 製品を中心に紹介

株式会社朋栄（代表取締役社長：清原克明、本社：東京都渋谷区）は、来る 2022 年 9 月 9 日（金）から 4 日間にわたりオランダ・アムステルダムで開催される欧州放送機器展「IBC2022」（於：RAI アムステルダム、ホール 2 ブース No.A51）に、2019 年以來 3 年ぶりに出展いたします。ブース内に「IP-SDI Hybrid」「NDI®」「Hi-Speed Camera」などの各コーナーを配置して各種ソリューションを提案します。4 月の NAB Show で協業発表をした AMMUX の伝送技術を活用した REMI ソリューションも紹介する予定。

主な展示製品

■ IP-SDI Hybrid Solution

IP と SDI の両方に対応する製品を中心に紹介する。

● 12G-SDI 対応ビデオスイッチャー HVS-6000/6000M

全入力が 12G-SDI に標準対応し、ウィンドウをフリーアサイン可能なマルチビューワーオプション HVS-6000MV を追加可能。25GbE IP ポートを 8 基備えた IP 入出力カード HVS-6000IP-8IO により SDI/IP の混在運用が可能。

● IP 対応マルチビューワー MV-1640IP

25GbE 対応の IP ポート 4 基を搭載し、HD 最大 16 ストリームまたは 4K 最大 4 ストリームの入力が可能。SDI/HDMI 出力のほか、IP 出力にも対応。オプションで SDI 16 入力を追加可能。

● IP/SDI マルチチャンネルシグナルプロセッサ

FA-1616 [発売予定]



SMPTE ST 2022-6、ST 2110、12G-SDI の混在利用が可能。同期は BB または PTP を選択。FA-9600 で培ってきたダイナミックレンジ変換、色域変換などを多チャンネルで実現。Software Defined により、制作ワークフローに応じた機能カスタマイズが可能。

■ NDI Solution

24 時間 / 365 日の放送運用で培ってきた朋栄製品の安定性・堅牢性を生かしながら、ライブイベントをはじめ、企業やホールなど幅広いシーンで利用されている伝送規格 NDI を追加し、さまざまな市場に提供します。

● 4K 対応ビデオスイッチャー HVS-490

標準で 16 系統、最大 40 系統の HD 入力が可能な HVS-490 は、

4K 対応に拡張可能。今回 HVS-NIF カードを新たにオプション設定し、NDI 入出力にも対応。

● オールインワン・プロダクションセンター

MFR-3100EX [発売予定]



MFR ルーティングスイッチャーシリーズの堅牢性を活かしながら、NDI 入出力機能やストリーミング配信機能、1M/E スwitchャー機能など、機能強化を実現。省スペースが必要とされる中継車やコンテンツ配信現場に最適。

■ REMI Software Switcher Solution

独自の伝送技術を持つ AMMUX との協業で実現した REMI ソリューションを紹介。

● REMI システム SOAR-A [発売予定] [技術協力 AMMUX 社]

複数のビデオ、オーディオ信号、各種データをネットワーク伝送するためのターンキーシステム。NDI のほか、WebRTC、WebM、HLS/DASH、CMAF、MP4 など、さまざまな伝送プロトコルに対応し、SMPTE ST 2022-7 のヒットレス・ストリーム切替にも対応。

■ Hi-Speed Camera Solution

スローモーション関連を中心とした製品を紹介。

● 4K 高速度カメラ FT-ONE-SS4K

FT-ONE-SS4K のリプレイ操作が、EVS 社ワークフローと連携可能に。FT-ONE-SS4K の実際の運用方法を紹介。

● 高速度カメラ QDCAM [MEDIAEDGE 社製]

マイクロフォーサーズレンズマウントを搭載した小型高速度ボックスカメラ。グローバルシャッターに対応し、フル HD で 239.8p または 200p での高速撮影が可能。

NDI は、NewTek, Inc の米国およびその他の国における登録商標です。

【製品に関する問い合わせ】

株式会社朋栄 国内営業本部 TEL : 03-3446-3121

FAX : 03-3446-4451 e-mail : ad@for-a.co.jp